



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 博司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 進一 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,877	25.7	△249	—	△297	—	△237	—
2019年3月期第1四半期	1,494	△32.4	△103	—	△27	—	△45	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △329百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △243百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△16.92	—
2019年3月期第1四半期	△3.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	16,768	9,709	57.1
2019年3月期	16,932	10,249	59.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 9,582百万円 2019年3月期 10,127百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	15.00	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 会社設立50周年記念配当5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	19.2	400	—	400	—	240	—	17.12
通期	12,000	13.8	1,600	150.8	1,600	119.9	960	180.4	68.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	14,200,000株	2019年3月期	14,200,000株
2020年3月期1Q	184,621株	2019年3月期	184,621株
2020年3月期1Q	14,015,379株	2019年3月期1Q	14,015,426株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、米中貿易摩擦の長期化や、中国経済の減速懸念、中東や朝鮮半島における地政学的リスクの高まりなど世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、国内経済は雇用・所得情勢の改善、個人消費や設備投資は緩やかな回復傾向が続いております。

なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資につきましては、当第1四半期連結累計期間は堅調に推移しております。また、国内自動車メーカーの設備投資につきましては、依然として低燃費エンジンや燃料電池・電気自動車等、環境や省エネに配慮した自動車部品の製造・研究開発分野への投資が続いております。

このような経営環境の中で当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンとともに、研究開発用の電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内及びアジアを中心に引き続き積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車部品メーカー向けの電気サーボモータ式振動試験機等の受注を獲得いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高18億7千7百万円（前年同四半期比25.7%増）、営業損失2億4千9百万円（前年同四半期は1億3百万円の損失）、経常損失2億9千7百万円（前年同四半期は2千7百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億3千7百万円（前年同四半期は4千5百万円の損失）となりました。

売上高につきましては、アジアのタイヤメーカーを中心にバランスングマシンや自動車関連業界向けのシャフト歪自動矯正機の売上が前年同四半期から増加したため、前年同四半期と比較して増加しております。

利益面につきましては、製造経費の増加などによる売上原価の増加や、前連結会計年度に実施した役員報酬改定により販管費が増加したこと及び当社グループの海外取引における主たる決済通貨である米ドルの為替相場が円高ドル安に推移したため為替差損が発生したことなどにより、前年同四半期と比較して損失が増加しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

国内・東南アジア向けのバランスングマシン全体の出荷・検収が大きく増加しましたが、製造経費の増加により、売上原価が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常損失となりました。

売上高	16億1百万円（前年同四半期比34.9%増）
経常損失	3千7百万円（前年同四半期は1億4千3百万円の利益）

〔日本（東伸工業株式会社）〕

原子力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が減少し、材料試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	1千9百万円（前年同四半期比57.4%減）
経常損失	5千万円（前年同四半期は4千万円の損失）

〔米国〕

日系の大手自動車関連メーカーや米国の自動車部品メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が増加しましたが、原価率の高い製品の売上が集中したことにより、売上原価が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常損失は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	1億2千7百万円（前年同四半期比9.6%増）
経常損失	7千8百万円（前年同四半期は3千1百万円の損失）

〔韓国〕

韓国大手自動車関連メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	4億7千6百万円（前年同四半期比6.6%増）
経常利益	8千9百万円（前年同四半期比58.7%増）

〔中国〕

中国国内の自動車部品メーカーへのシャフト歪自動矯正機の出荷・検収は増加したものの、タイヤメーカーへのタイヤ関連試験機の出荷・検収は減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高	8千5百万円（前年同四半期比39.1%減）
経常損失	4千3百万円（前年同四半期は3千1百万円の利益）

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、167億6千8百万円（前連結会計年度末比1億6千4百万円減）となりました。これは売上債権の回収などにより現金及び預金が増加（前連結会計年度末比4億7千3百万円増）したことや、第2四半期以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加（前連結会計年度末比3億6千6百万円増）したこと、第2四半期に出荷される商品及び製品が増加（前連結会計年度末比3億7千2百万円増）したものの、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比11億4千4百万円減）したことが主たる要因であります。

(負債の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、70億5千8百万円（前連結会計年度末比3億7千4百万円増）となりました。これは、受注の増加により支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比1億3千8百万円増）したことや、前受金が増加（前連結会計年度末比3億1千1百万円増）したことが主たる要因であります。

(純資産の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、97億9百万円（前連結会計年度末比5億3千9百万円減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比4億4千7百万円減）したことや、為替換算調整勘定が減少したこと（前連結会計年度末比1億1千6百万円減）が主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、第2四半期及び第4四半期に売上が集中する傾向が強いことから、第2四半期以降の業績については計画通りに推移すると見込まれており、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,055,340	4,528,681
受取手形及び売掛金	4,038,603	2,894,199
商品及び製品	239,755	612,147
仕掛品	2,640,935	3,006,984
原材料及び貯蔵品	598,576	617,143
その他	351,007	212,053
貸倒引当金	△5,801	△3,592
流動資産合計	11,918,418	11,867,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,461,119	2,442,269
機械装置及び運搬具	226,084	224,301
土地	1,307,431	1,302,434
リース資産	3,036	3,036
その他	270,991	287,900
減価償却累計額	△1,628,676	△1,644,831
有形固定資産合計	2,639,986	2,615,111
無形固定資産		
その他	54,214	55,263
無形固定資産合計	54,214	55,263
投資その他の資産		
投資有価証券	400,425	428,186
長期貸付金	10,160	9,573
繰延税金資産	14,942	14,179
保険積立金	1,585,445	1,422,401
その他	452,008	476,145
貸倒引当金	△143,005	△120,453
投資その他の資産合計	2,319,976	2,230,031
固定資産合計	5,014,177	4,900,406
資産合計	16,932,595	16,768,024

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,352,596	2,491,490
短期借入金	1,140,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	225,484	225,484
未払法人税等	77,807	56,923
賞与引当金	116,351	191,871
製品保証引当金	90,441	91,343
前受金	1,397,899	1,709,404
その他	318,769	343,915
流動負債合計	5,719,349	6,210,433
固定負債		
長期借入金	461,482	405,111
繰延税金負債	136,582	76,128
役員退職慰労引当金	141,656	143,776
退職給付に係る負債	212,489	210,708
資産除去債務	11,937	11,999
固定負債合計	964,147	847,723
負債合計	6,683,497	7,058,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	8,052,121	7,604,734
自己株式	△151,034	△151,034
株主資本合計	9,860,586	9,413,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238,797	258,037
為替換算調整勘定	27,736	△89,055
その他の包括利益累計額合計	266,534	168,981
非支配株主持分	121,977	127,685
純資産合計	10,249,098	9,709,867
負債純資産合計	16,932,595	16,768,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,494,057	1,877,429
売上原価	909,276	1,372,048
売上総利益	584,780	505,380
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	20,327	61,576
貸倒引当金繰入額	4,947	—
役員報酬	40,287	101,271
給料手当及び賞与	179,360	167,420
賞与引当金繰入額	32,146	30,995
退職給付費用	8,191	8,705
役員退職慰労引当金繰入額	2,120	2,120
運賃	51,007	83,787
減価償却費	7,452	7,769
研究開発費	8,219	2,245
その他	334,696	289,222
販売費及び一般管理費合計	688,756	755,115
営業損失(△)	△103,975	△249,734
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,784	12,855
為替差益	66,788	—
貸倒引当金戻入額	—	24,536
その他	7,810	10,801
営業外収益合計	85,383	48,192
営業外費用		
支払利息	2,393	2,524
売上債権売却損	1,084	924
為替差損	—	56,370
保険解約損	3,477	34,243
その他	1,800	1,421
営業外費用合計	8,755	95,484
経常損失(△)	△27,348	△297,026
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,348	△297,026
法人税、住民税及び事業税	27,433	5,723
法人税等調整額	△20,695	△68,451
法人税等合計	6,737	△62,727
四半期純損失(△)	△34,085	△234,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,550	2,857
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△45,636	△237,156

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△34,085	△234,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116,525	19,239
為替換算調整勘定	△93,286	△113,941
その他の包括利益合計	△209,812	△94,701
四半期包括利益	△243,897	△329,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△253,598	△334,708
非支配株主に係る四半期包括利益	9,700	5,707

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	1,095,667	44,745	111,828	103,327	113,446	1,469,015	25,041	1,494,057
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	91,197	—	4,833	343,406	26,474	465,912	9,460	475,372
計	1,186,865	44,745	116,662	446,734	139,921	1,934,928	34,501	1,969,429
セグメント利益 又は損失(△)	143,111	△40,141	△31,342	56,198	31,831	159,656	7,300	166,957

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	159,656
「その他」の区分の利益	7,300
セグメント間取引消去等(注)	△194,305
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△27,348

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が166,787千円含まれております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	1,424,208	19,046	127,767	216,297	53,742	1,841,064	36,365	1,877,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	177,304	—	80	259,905	31,507	468,797	22,155	490,952
計	1,601,512	19,046	127,848	476,202	85,250	2,309,861	58,520	2,368,381
セグメント利益又は損失(△)	△37,612	△50,295	△78,384	89,174	△43,159	△120,276	15,566	△104,709

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△120,276
「その他」の区分の利益	15,566
セグメント間取引消去等(注)	△192,316
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△297,026

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が158,168千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	1,257,309	+53.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	158,185	△13.8	日本(国際), 韓国
シャフト歪自動矯正機	222,633	+49.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	19,046	△57.4	日本(東伸)
その他	247,393	△17.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	1,904,566	+27.3	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

区 分	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	2,345,110	△9.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	448,892	△72.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	309,382	+18.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	59,063	△31.2	日本(東伸)
その他	276,937	△18.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	3,439,387	△29.8	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第1四半期連結累計期間末(2019年6月30日)

区 分	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	8,515,524	+47.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	2,992,316	+7.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	936,430	+9.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	82,430	△23.4	日本(東伸)
その他	110,483	△14.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	12,637,185	+30.6	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

区 分	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	1,229,896	+50.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	158,185	△13.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	222,907	+49.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	19,046	△57.4	日本(東伸)
その他	247,393	△17.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	1,877,429	+25.7	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。